

事業番号	02 08 14	事業改善シート (27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	多世代まちなか・むらなか居住構想推進事業			担当課	部局	企画振興部	
総合5か年計画	プロジェクト	6-1-1 誇りある暮らし実現プロジェクト			課・局・室	地域振興課	
	施策の総合的展開	2-1 魅力ある地域の創造と発信 3 元気ある地域づくりの促進			E-mail	shinko@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	H27 ~		

1 事業の概要

目指す姿	<p>高齢者など希望する人々が既存建物等に移り住み、多世代と交流しながら学び楽しむ活動的な生活を送り、必要な医療・介護も受けることができる地域づくりが進み、人口定着が図られる。 【目標】 多世代まちなか・むらなか居住構想(生涯活躍のまち構想)の基本計画策定に取り組む市町村数:2市町村(H28)</p>					
現状(予算編成時)	<p>◆本県人口はH22(2010年)からH42年(2030年)までに約30万人減る見通し(減少率14.1%)。一方、東京都の減少は約2万人(減少率1.5%)に留まる。【社人研】 →人口を増やす施策の一つとして、大都市圏からの移住促進策も重要な要素 →移住・職業・住居を一体的に考えた人口対策が必要</p> <p>◆多世代まちなか・むらなか居住構想(生涯活躍のまち構想)に取り組む意向のある市町村は県内に15市町村 →今後、具体的な構想策定に入ることから、先進事例や策定にあたっての手順などについて情報提供を行い、多くの市町村で円滑に作成が進むように支援</p>					
県が関与する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】 広域自治体である県が、市町村・関係機関との役割分担のもと、県内外の優良な取組や構想の策定・具体化の手順の周知を図る。			
成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)					
	多世代まちなか・むらなか居住構想(生涯活躍のまち構想)基本計画策定に取り組む市町村数:2市町村(H28)					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H27実施内容	H27		
				(補正前)	(2月補正)	(補正後)
	多世代まちなか・むらなか居住構想(生涯活躍のまち構想)についての勉強会等の開催	直接	県内の市町村等を対象に「多世代まちなか・むらなか居住構想」(生涯活躍のまち構想)のコンセプトや先進事例を紹介し、市町村の構想策定や具体化を支援する。	0	466	466
	合計			0	466	466
事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27補正後	
	予算額				0	
	前年度繰越				0	
	当初予算				0	
	補正予算				466	
	合計(A)	0	0	0	466	
	Aの財源				0	
	一般財源				0	
	県債				466	
	国庫支出金	0	0	0	0	
その他				0		
決算額(B)						
概算人件費				0.20		
職員数(人)				0.20		
概算人件費(C)	0	0	0	1,652		
概算事業費(B(A)+C)	0	0	0	2,118		
要求からの主な変更点	要求どおり					

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27 目標	H27		H28 目標
			成果	達成状況	
基本計画策定に取り組む市町村数	-	2			